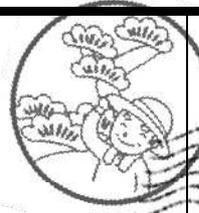


「お庭さん」とは丸亀藩京極家の大名庭園・中津万象園の木の手入れをしている「庭師さん」のこと。いちばん中津万象園のお庭のことを知っている、「お庭さん」。その「お庭さん」のお話を、毎年4回お届けします！

# 「おにわさん」通信



冬の万象園！

## 【門松・おしめさん】

毎年恒例12月28日には万象園、富士建設本社、丸亀プラザホテルの門松を作ります。門松を作ると正月が来たなーと思います。門松には色々な作り方があり、決まった形はないようです。  
身近な物を利用して作りますが、結構手間がかかります。  
12月30日はお正月のお飾りです。かなりの数があります。今年一年のお礼と来年へのお願いを込めて作業します。



< 第 2 号 >  
H23. 3月発行  
公益財団法人中津万象園保勝会  
中津万象園・丸亀美術館  
文・写真/田口彰良(造園課長)



↑ひとつひとつ  
↓願いを込めて作ります。



小正月(1月15日)に焼いてしまいます。→

## 【いかだ作り】

このイカダは、万象園の作業には必需品です。池周辺の松の剪定作業(いかだの上に脚立を立てて剪定)、池の中の剪定後の松葉の回収・運搬と非常に役に立ちます。  
いかだ作りには、ドラム缶4本・角材・コパン等で作ります。  
2年ぐらいでドラム缶に、穴があき作り直します。



今問題なのが、池のヘドロがたまりいかに底に当たり動かなくなることです。濡れた松葉を積むと大変です。見ていただくと良く分かりますが、邀月橋の下周辺は特に浅く鯉が背中を出して泳いでいるところもあります。ヘドロ対策はこれからの大きな問題です。いい除去方法がないものでしょうか。



↑池に落ちた松葉を回収します。

【石灰硫黄合剤散布】

1月に行う予防です。散布をすると葉が白くなり見た目は良くないですが、植木の中でも、特に松には良いようです。人間も温泉に入ると気持ちが良いように、植木も温泉（硫黄）を浴びると元気が出るのでしょいか。倍率 27 倍 6000ℓを2日かけて散布します。



【梅】

2月になると梅が咲き始めます。紅梅、白梅とありますが、咲く時期が微妙に違います。2月中旬〜下旬が見どころです。梅にはカイガラムシが付きます。これが付くと枝枯れが出ます。（7月上旬 スプラサイド 1000 倍散布）  
もう一つ困るのがカラス、大松に巣を作るのに枝を折ります。見ているとくちばしと体を使いうまく折っていきます。



メジロのえさ場にもなっているようです。→

【雪】

近年の異常気象23年度に入って一カ月雨が降らなかったのですが、雨が降れば良いと思っていたらまさかの雪。雪の万象園はあまり見たことがないと思います。これは庭園部の特権です。2〜3時間の間に一気に積りました。解けるのもまた早いもの。写真がほしい人はご連絡をください。たくさん撮っています。

